

その他の授業での実践(長町中学校)

1 防災講話1

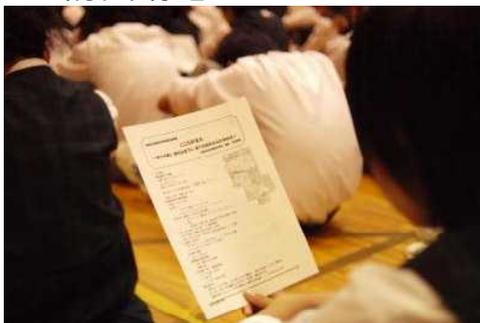


- 1 題材名 「防災について学ぶのはなぜ？」
- 2 日時 平成25年5月2日
- 3 対象 全学年全生徒，教職員，父母教師会
- 4 ねらい 地震に関連した自分たちの住む地域の状況について知ることにより，防災について学ぶ意義を知る。

- 5 講師 山形大学教職大学院 教授 村山良之 氏
- 6 内容 仙台の地盤や利府―長町断層について，家庭での防災への取り組み方（部屋の配置など）



2 防災講話2



- 1 題材名 「こころがまえ」
- 2 日時 平成25年9月26日
- 3 対象 3学年生徒，教職員，父母教師会
- 4 ねらい 3・11の地震のとき，同じ宮城県内の別の地域では，何が起きどんな状態だったのか知ることにより風化させることなく記憶に残す。

- 5 講師 気仙沼市立唐桑中学校 教諭 七宮 克徳 氏
- 6 内容 3・11の地震の時，気仙沼大島での実体験。津波被害や，山林火災，アメリカ軍とのトモダチ作戦への参加など。



3 防災講話3



- 1 題材名 「環境問題と命の授業」
- 2 日時 平成25年10月1日
- 3 対象 2学年生徒，教職員，父母教師会
- 4 ねらい 防災教育の原点である「命」について，環境問題も含め講話を頂き，「命」について改めて見直す機会とする。

- 5 講師 環境経営学会 理事 若尾 久氏
- 6 内容 命を感じることはどのようなことなのか。命がどのように過去から繋がってきているのかなど，命について様々な角度で考えながら，命とは何なのかを考える時間となった。



4 救命救急講習



- 1 受講コース 「救急入門コース」
- 2 日時 平成25年10月21・23日（5・6校時）
- 3 対象 2学年生徒
- 4 ねらい 救急車の到着までに、助けることのできる命を助けられるように、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDの使用法について学ぶ。

- 5 講師 太白消防署 恵美伸之様他 救急隊員数名
- 6 内容 2学年生徒を1組～4組，5組～8組の2グループに分け，2日間に分けて行った。消防隊員の方々の指導の下，各自心臓マッサージなどを実践し，「救命入門コース参加証」を授与された。



5 安否確認訓練



- 1 日時 平成25年11月26日(火)8:45～12:35
- 2 対象 1学年
- 3 ねらい 非常時に地域の中で、進んで活躍することのできる力を育てる。
→ 学年活動のねらい
 - ① 自分が住んでいる地域の実情を知るとともに、地域の方々とふれあう。
 - ② 地域の中で自分が果たさなければならない役割について考える。
 - ③ 地域の一員として活動しようとする意欲を持つ。

4 協力団体 各地区民生委員（計48名参加）

- ・鹿野地区民生委員児童委員協議会 会長 他16名
- ・長町第1地区民生委員児童委員協議会 会長 他13名
- ・長町第2地区民生委員児童委員協議会 会長 他16名

- 5 内容 民生委員約50名の方々の協力を得られたこともあり，学区内の全地区で，原則自分の居住する地区を対象とすることにした。民生委員の方々と生徒5～7名を1つのグループとして，訓練を行った。実際にご老人の方々のお宅を訪問することで，地域で期待されていることや，ご老人や地域の方々に対しできることがたくさんあることを実感することができた。

